

# 令和元年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 助教 宮田 航平

取組状況	
教育	<p>①「国語Ⅰ」「国語Ⅱ」「日本語表現法Ⅰ」におけるAL教材の開発・授業実践 シラバスに記載した到達目標の達成に向けて、能動的な学習を促すためのワークシートを作成し、個人やペア、グループでの活動を行った。国語に苦手意識を持つ学生でも段階的な理解が得られるよう、発問や助言に工夫を凝らした。またワークシートで学習状況を把握し、学生の理解度を確認することで、適切な課題を設定した。</p> <p>②「国語Ⅰ」「国語Ⅱ」における漢字確認テスト、口頭発表の実施 毎時間、授業の冒頭で漢字テストを実施し、語句の意味と併せて定着を図った。また1分間スピーチも実施し、従来の「国語」の授業で不足しがちであった「話すこと」についても意識を促すとともに、グループ活動の学習成果を発表する際の指導にも結び付けた。</p> <p>③「日本語表現法Ⅰ」における評価用ワークシートの作成・相互評価の実施 ペアワークとして面接の練習を行う際に、昨年度の授業や授業研究を活かして作成した評価ワークシートを使い、学生による相互評価を行った。</p>
研究	<p>①『ひとりでよめたよ！ 幼年文学おすすめブックガイド200』（評論社,2019年6月）</p> <p>②「「わかり合えないこと」とどう向き合うか—児童文学のこれまで・これから—」（『子どもの文化』2019年8月）</p> <p>③『あまんきみこハンドブック』（三省堂,2019年9月）</p> <p>④「「教材」から遠くはなれて—あまんきみこ研究、そしてその先へ—」（全国大学国語教育学会大会,宮城教育大学,2019年10月）</p> <p>⑤「「児童文庫」の語り方をさがして」（『大人も知りたいすごい児童文庫教えます』第3巻,2020年1月）</p> <p>⑥「《新美南吉》の彼方へ」（『ねむらない樹』第4号,2020年2月）</p>
社会貢献	<p>①「中学生のための小論文講座」（講師・コーディネーター、OPC小中学生対象講座、全4回、2019年8-9月）</p> <p>②「高専から考える「国語」の未来～2020年大学入試改革・新学習指導要領・教科書～」（講師、OPC一般対象講座、全1回、2019年8月）</p> <p>③日本児童文学学会（運営委員）</p> <p>④あまんきみこ研究会（会計・会務委員）</p> <p>⑤三省堂高等学校国語教科書編集委員会（編集委員）</p>